



巻頭言

「発想転換の時」

常務理事

後藤祥子

小鳥の賑やかな囀りで目が覚める、そんな夏の朝を大学セミナーハウスでの学生たちとの合宿で味わったのは、もうかれこれ七、八年も前のことになるだろうか。つくづく幸せだと思った。それにも拘わらず、翌年からはついぞ暇がなくて（学生の方もそうらしいのだが）その醍醐味を味わっていない。自然に囲まれた郊外の別天地に豊かな時間を持つことの大切さを、セミナーハウスの創始者たちは多分、海外留学の経験から熟知されていたのではなかろうかと、初めて思い至ったのは、海外経験の少ない私がたまたま昨年、アメリカの女子大学を訪問する機会を与えられたからだった。勤務先の日本女子大学が学生交換協定を結んでいるウェルズリー・カレッジの学長就任式に、源氏千年紀の講義を引っかけて列席のお膳立てをして下さったのは言語学の井出祥子教授で、盟友のエレン・ウイドマー教授がウェルズリーのアジア言語学科の学科長をされているご縁だった。

ウェルズリー・カレッジはボストンの郊外、車で30分ほどの所にある。とにかく広大で、丘のあちこちに美しい古式豊かな建物が見え隠れし、創立以来歴史を誇る寮舎や教会、自慢の初版本を陳列する厳かな図書館や美術館があるかと思えば、いかにも今様な雑貨売り場のある建物には下街のお兄さんと変わらない風体の若者が闊歩していたりする。その広い園庭の一部に張り巡らされていたのが、翌日の就任式用に準備された大型テントなのだった。当日は5月には珍しく冷たい風混じりの雨もよいだったが、幾つもの建物の廊下を行列して会場へ向かう道々、式後のレセプションに出番のある仮装の女子大生たちが、エスニックな扮装で立ち稽古をしたりしているのに出くわす。一世一代のお祭り気分なのである。その活気は当の会場ですらに盛り上がり、厳かな中にもユーモアなセンスが

溢れた。マサチューセッツ州知事や友好女子大学の学長・教授陣に混じって、男女教職員代表が檄を飛ばし、学生代表は1年生の小柄な黒人女子学生が務めた。新学長には大学から、教会の鍵やコベルニクス「地動説」の初版本が贈られる。なにしろ初版本に価値を置くアメリカならではの選択である。式典のクライマックスでキム・ボトムリー学長が「ウェルズリーは女子大学であり続けるべきか」と問いかけると、期せずして会場中の学生が「イエース」とどよめいた。間髪を入れない掛けあいは見事と言う他ない。

翌日の空は嘘のように晴れ上がり、ウイドマー先生のご高配で、これも列席者であった梨花女子大のリー学長御一行と一緒に、さらに1時間ほど離れたもう一つの協定校、マウントホリヨークを訪れた。ジョアン・V・クライトン学長がウイドマー先生の親友なのである。マウントホリヨークのキャンパスの美しさは全米でも屈指とのことで、クライトン学長はキャンパスに居住し、ご自分の運転でキャンパスを案内して下さいました。素敵なお茶の後、別れを告げる私たちに持たせたいと奥から抱えてきたのは清水のペットボトル。なんとラベルには「マウントホリヨーク大」の風景とロゴが。学園内の湧水を売りに出来るような自然の価値を、日本の大学は今こそ見直すべきではなかろうか。

●後藤 祥子（ごとう しょうこ）プロフィール

日本女子大学 名誉教授

専門：日本古典文学

略歴：1967年 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専攻博士課程満期退学
同 年 日本女子大学文学部助手
1971年 一般教育課程専任講師
1974年 同課程助教授
1977年 文学部助教授
1986年 同教授
1996年 学生生活部長
2000年 文学部長
2001年 学長・理事長
2007年 名誉教授
2009年 学長・理事長職退任

（その他役職）

平成16～文科省国立大学評価委員／大学評価学位授与機構評議員／平成19～NWE C（国立女性教育会館）運営委員等。

第119回理事会・第96回評議員会

実施日：平成21年 3月26日(木)
場 所：桜美林大学四谷キャンパス

第96回評議員会 18:00 から 19:00

第119回理事会 19:00 から 20:00

『理事会』

出席者8名、書面による出席者10名、合計18名

『評議員会』

出席12名、書面による出席者41名、合計53名

「平成21年度事業計画案」「平成21年度収支予算案」「平成21年度施設整備計画案」及び「新公益法人制度への対応方針案」について審議が為され、いずれも原案通り承認されました。

主な協議事項及び報告事項は次の通りです。

◎報告事項

①平成20年度利用状況について ②主催セミナーの実施報告について ③平成20年度決算見込みについて ④平成20年度施設改修状況について等の業務報告がなされました。

◎協議事項

①平成21年度事業計画案・平成21年度収支予算案について原案通り承認されました。

収支予算書は、別表(4頁)の通りです。

なお、宿泊利用者見込み数は35,000名で、前年度見込み数に比べて3,000名増加といたしました。

②平成21年度施設整備計画案について

原案通り承認されました。

計画書は、別表の通りです。

③新公益法人制度への対応方針案について

「新定款の審議の中で再度協議が行われることになる」こと、また、「会員校の意向が事業運営に反映されるよう会員校協議会(仮称)を新設する」などの説明が事務局からなされ、原案通り承認されました。

平成20年度第3回常務理事会

実施日：平成21年 3月26日(木)
場 所：桜美林大学四谷キャンパス

(出席者)

佐藤東洋士理事長はじめ常務理事7名、監事1名、評議員会議長

(主な議事)

第119回理事会と第96回評議員会への上程議題について協議いたしました。

1. 「平成21年度事業計画案」について

2. 「平成21年度収支予算案」について
3. 「平成21年度施設整備計画案」について
4. 「新公益法人制度への対応方針案」について
5. 報告事項について
6. その他

第7回運営幹事会

実施日：平成21年 3月9日(月)
場 所：桜美林大学四谷キャンパス

出席者：運営幹事11名。(総員15名)

「第7回運営幹事会」を次の通り開催いたしました。

第7回運営幹事会議事内容

1. 館長挨拶
2. 業務報告
 - ①平成20年度利用状況報告
 - ②平成20年度主催セミナー実施報告
 - ③平成20年度決算見込み報告
 - ④平成20年度施設改修状況報告
 - ⑤新公益法人制度への移行について検討状況報告
 - ⑥その他
3. 第119回理事会、第96回評議員会の議案について
 - 第1号議案 平成21年度事業計画(案)について
 - 第2号議案 平成21年度収支予算(案)について
 - 第3号議案 平成21年度施設整備計画(案)について
 - 第4号議案 新公益法人制度への対応方針(案)について
4. 協議事項

利用促進活動(訪問計画・PR方法など)、主催事業(セミナーの企画・実施など)施設整備回収等に関して多くのご提言をいただきました。

平成21年度 施設整備計画

	内 容	理 由
1	講堂用プロジェクター 固定式(スクリーン自動)	プロジェクター利用度が高い
2	長期館シャワー室	長期館風呂トイレ不足
3	食堂厨房食器洗浄器	老朽化
4	だれでもトイレ	講堂・大学院付近トイレ不足
5	館内表示補充	館内案内板の再整備
6	講堂パーテーション	遮蔽および掲示用
7	インターネットLAN工事(長期館)	基本情報設備
8	インターネットLAN工事(国際館)	〃
9	松下館外壁塗装	外壁老朽化(北側面)
10	食堂修繕費	厨房設備等
11	交友館セミナー室前貯湯槽および重油タンク撤去	交友館前の整備
12	長期セミナー室A床張替え	老朽化・汚れ他
13	茅橋 改修(塗装等)	遊歩道整備
14	さくら館排水管理設	配管老化防止
15	その他	その他
16	大学院・講堂の椅子とテーブル	テーブル・椅子の老朽補充

○会費をありがとうございました

平成20年10月～平成21年3月 (敬称略)

松田千鶴子、平澤茂一、前川真理、関本昌秀、木畑洋一、松岡八郎、鈴木順子、酢屋善元、小田中敏男、篠寄啓助、川鍋正敏、田村皖司、小田 滋、田島澄江、小林善彦、牧内 操、宇野重昭、熊川 忠、梶木隆一、平野健一郎、大須賀節雄、戸張よし子、山下幸夫、有馬弥子、小林澈郎、

今井哲哉、増田義男、近藤 保、栗田 寛、高橋三郎、鈴木俊和、青木生子、尾田幸雄、生山智己、小和田恒、福井憲彦、清水 護、岩下秀男、有山正孝、松本幸一、池田 温、澤孝一郎、中野斉子、小西正捷、横沼健雄、城 謙輔、石田孝夫、青柳総太郎、吉田 豊、川端香男里、上田明子、山田圭一、米満 澄、小谷正博、堀井啓幸、松本 宏、鈴木 皇、慶谷壽信、中富光國、大森東亜、大澤恵美子、武田昌輔、川崎正三、森 久、北原文雄、乾 崇夫、小山弘志、柳澤富雄、出光直樹、新井 明、中村正一、寺東寛治、柳父圀近、佐藤音彦、徳重昌志、池井 優、石川道夫、海老沢信一、茅野良男、蓮見音彦、富沢賢治、根岸愛子、塚本利明、本田和子、風間邦光、佐藤 光、小菅敏夫、岡崎 正、秋間 実、小林一彦、泉 敏彦、柳下 登、福永壽巳夫、肥前榮一、馬越 徹、磯 直道、勝見允行、箕輪成男、高松正昭、小幡史朗、島田治夫、新保清子、小原啓義、寿里 茂、佐藤公孝、柴田泰比古、手塚喬介、池原義郎、尾田綾子

会員からのメッセージ

- ◆来年3月で退任します。長い間、お世話になり、ありがとうございました。 平澤茂一
- ◆美しいカードをありがとうございました。千人会と(財)大学セミナー・ハウスのますますの順調な発展を願っております。 前川真理
- ◆誕生日カードありがとうございました。84歳となりましたが、相変わらず消光しております。セミナー・ハウスの皆様には益々お元気にて御活躍下さいますよう心から御期待申し上げます。 松岡八郎
- ◆美しい誕生日カードをありがとうございました。お陰様で健康を支えられ、無事に「後期高齢者」階段を一段上にあがりました。「老害」を与えないよう心かけながら、今年も適度な知的刺激を求めて、学会などにも足を運びたいと存じております。 鈴木順子
- ◆本人は昨年より介護施設に入所しております。 小田中敏男先生の奥様
- ◆西北政法学院の楊先生によるセミナーハウスのイラストは新鮮でとかくマンネリズムに陥っていた誕生祝いのカードを魅力あるものにしてくれました。楊先生、中央大学での研究員としての2年間で実りあるものとなることを陰ながら祈っています。 田村皖司
- ◆同封の誕生日祝いのカード、ありがとうございます。長い年月の間に大学セミナー・ハウスの周囲の景観が変わってきていることを思わされています。 熊川 忠
- ◆誕生日を祝してのメッセージ有難うございました。セミナー・ハウスが時代に即し、あるいは先駆けて大学教育を根本で支える活動を続けられていることに意を強くしております。世間から隔離したような日々を過ごしております。石川淳が戦争中「江戸に留学する」と言いつつ勉強に専念した輩にならって「古典ギリシア・ラテンに留学して」古典語の勉強に苦勞してみたり、若い時から買っておいた本を読んだり、昔の同僚の方々に教を乞うたりして楽しんでおります。 小林澈郎
- ◆楊先生のスケッチのカードありがとうございます。セミナー・ハウスに長期滞在の外国からのゲストを迎え、いよいよ国際交流のレベルアップに寄与されていることを知り嬉しく思います。 増田義男
- ◆No.175のお便りで未払いがわかり、老いのせいだと言いつたくなりました。「館長室」からの中で、あずましいという言葉になつかしさを感じ、北海道さえ遠のいていく言葉の一つです。いつもカードありがとうございます。 鈴木俊和
- ◆88歳の誕生日を迎えました。体調を崩しておりますが、余生をやり残した仕事など、まとめております。昔お世話になったハウスの益々の充実、発展をお祈り申し上げます。 青木生子
- ◆国際交流の順調な進展を期待しています。 池田 温
- ◆折々HPで活動状況など拝見しています。ご発展をお祈り申し上げます。 青柳総太郎
- ◆楊先生の絵の入ったバースデーカードありがとうございました。3階に宿泊し、朝まで仕事をし、4階の食堂でコーヒーをおいしく頂いたことを思い出しました。忙しくなりましたが、またゆっくりうかがいたいです。 堀井啓幸
- ◆2年ぶりに4月5～6日の予定でゼミ合宿を行います。桜の季節でもあり、楽しみにしております。 森 久
- ◆貴セミナー・ハウス主催のセミナーを楽しみにしております。機会を得て参加させていただきます。 中村正一
- ◆よろしく願います。 柳父圀近
- ◆この年末も、レコード大賞にノミネートされた斉藤和義さんに格闘技の山本KIDさんの兩名OBが大活躍。元気を与えてくれました。 海老沢信一
- ◆小生の事情でたいへん遅れてしまいました。悪しからずご寛恕下さいますよう。 塚本利明
- ◆還暦を迎え、ますます学生時代をなつかしく思い出しております。 佐藤 光
- ◆誠に小額で恐縮ですが、心ばかりの気持ちをお送り申し上げます。 岡崎 正
- ◆生来のチャランポランと加齢によるボケの進行とがあいまって、このところずっと滞納を続けてしまいました。申しわけありません。とりいそぎ今年度ぶんをお届けいたします。秋間 実
- ◆傘寿の誕生日をむかえました。 福永壽巳夫
- ◆ますますのご発展を祈念いたします。故染谷恭次郎先生の大学院ゼミで活発に議論した若きあの頃のセミナー・ハウスの思い出を懐かしく感じる老境に入りました。 高松正昭
- ◆お祝いありがとうございます。1月に脳梗塞におそわれましたが45分で治療開始。なんの後遺症もなく、ふたたび職務にもどれました。感謝。 小幡史朗
- ◆学生・社会人の交流の場として用いられますようお祈りいたします。 島田治夫
- ◆誕生日カードをありがとうございます。今回は大学のコーラスサークルが少人数になり、楽しみの合宿が出来ず残念でした。 佐藤公孝

平成20年度 宿泊業務報告

◇年間の宿泊利用者数 35,268 人

平成20年度の宿泊利用者数は延べ35,268人で、前年度に比べ183人ふえました。新年度の大学オリエンテーションは前年同様の利用があり、稼働率の最も高い夏休みのゼミ合宿、サークル合宿、夏期スクーリング、高校生勉強合宿、大学連合研究会も多くありました。一方、4月の社会人利用が大幅に減少しましたが、当ハウス主催の教員免許更新講習の利用数が大きく影響し、総数として前年度を超えました。

◇グループ別利用状況

宿泊延人数全体に占めるグループ別の構成比は表1、図1に示す通りです。会員校(本年度末現在59校)の利用は15,058人、構成比は43%でした。一般校、社会人グループの中に会員校学生、教職員が多数参加されますので、会員校の利用率は実質的にはこれよりも高くなります。一般校の利用は11,766人、構成比33%で前年度より11%伸びました。社会人の利用は8,444人、構成比は24%で、前年度より13%減になりました。閑散期の対策として12月～2月に社会人パックを実施しましたが、利用率を上げることはできませんでした。

なお、参考までに本年度最多利用会員校10位を紹介します。(表2)

◇宿泊の年間稼働率は36%

本年度の当ハウスの稼働日数は、年末年始の休館6泊分を除いた359日で、宿泊(宿泊定員277人)の年間平均稼働率は36%でした。

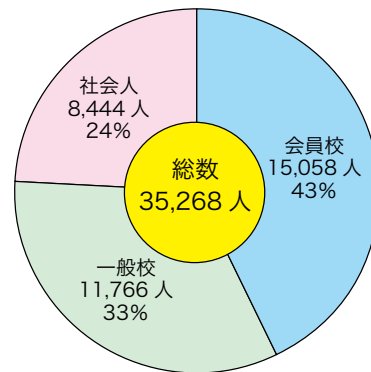
表1 宿泊延人数

年度	平成20年度		平成19年度		増減率 増(△)減
	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比	
会員校	15,058人	43%	14,752人	42%	2%
一般校	11,766人	33%	10,615人	30%	11%
社会人	8,444人	24%	9,718人	28%	△13%
合計	35,268人	100%	35,085人	100%	0.50%

表2 協力会員校最多利用10校

順位	大学名	宿泊延人数 (人)	順位	大学名	グループ数
1	中央大学	1,519	1	中央大学	55
2	首都大学東京 東京都立大学	1,109	2	首都大学東京 東京都立大学	35
3	日本大学	926	3	日本大学	31
4	青山学院大学	873	4	早稲田大学	31
5	明星大学	858	5	明星大学	28
6	法政大学	799	6	法政大学	22
7	東洋大学	782	7	東京学芸大学	21
8	早稲田大学	689	8	青山学院大学	19
9	明治大学	614	9	明治大学	18
10	慶応義塾大学	564	10	駒澤大学	18

図1 利用グループ構成比



平成21年度 収支予算書総括表

単位：円

本年度の予算額は、新しい会計基準による正味財産増減方式となっている。前年度の予算額は、増減計算方式ではなく、従来の収支計算方式を用いている。

科 目	予算額	前年度予算額	差 額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常収益			
①基本財産利息収益	10,000	10,000	0
②会費収益	51,700,000	52,500,000	-800,000
③一般事業収益	166,250,000	160,149,000	6,101,000
④食堂事業収益	77,280,000	75,190,000	2,090,000
⑤留学生会館収益	12,150,000	12,150,000	0
⑥セミナー会費収益	22,380,000	7,000,000	15,380,000
⑦補助金等収益	5,000,000	0	5,000,000
⑧寄付金収益	1,100,000	1,600,000	-500,000
⑨雑収益	8,086,000	8,000,000	86,000
事業活動収益計	343,956,000	316,599,000	27,357,000
2. 経常費用			
①事業費	122,199,750	106,237,000	15,962,750
人件費	25,402,000	42,000,000	-16,598,000
一般事業費	96,797,750	64,237,000	32,560,750
②セミナー事業費	30,033,500	6,100,000	23,933,500
人件費	19,066,500	0	19,066,500
一般事業費	10,967,000	6,100,000	4,867,000
③留学生会館事業費	13,654,500	0	13,654,500
人件費	5,692,500	0	5,692,500
一般事業費	7,962,000	0	7,962,000
④事業費(収益)	40,457,750	0	40,457,750
人件費	8,191,500	0	8,191,500
一般事業費	32,266,250	0	32,266,250
⑤食堂事業費	78,092,500	68,576,000	9,516,500
食堂事業直接費	32,508,000	31,662,000	846,000
人件費	32,698,500	29,000,000	3,698,500
食堂事業間接費	12,886,000	7,914,000	4,972,000
⑥管理費	30,665,000	63,639,565	-32,974,565
人件費	11,295,000	16,000,000	-4,705,000
施設管理費	5,762,000	31,008,000	-25,246,000
一般管理費	13,608,000	16,631,565	-3,023,565
事業活動支出計	315,103,000	244,552,565	70,550,435
事業活動収支差額	28,853,000	72,046,435	-43,193,435
II 経常外増減の部			
1. 経常外収益	0	0	0
2. 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	804,982,046	732,935,611	72,046,435
一般正味財産期末残高	833,835,046	804,982,046	28,853,000
III 指定正味財産増減の部			
指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	833,835,046	804,982,046	28,853,000

ご利用ありがとうございました

(平成 20 年 10 月～ 21 年 3 月)

* = 同月 2 回利用
 ** = 同月 3 回利用
 日帰り利用はグループ数のみ
 (延べ人数には日帰り利用は含まず)
 敬称略

■ 10 月 (58 グループ、延 1,724 人)

明治大学 MMC
 聖心女子大学 金子美都子
 東京農業大学国際協力センター
 東京学芸大学 高籾 学
 東京学芸大学混声合唱団
 桜美林大学 松尾昌宏
 東京外国語大学タイ語科
 上智大学 S T P *
 日本大学 大井真二
 東京大学産学連携本部
 中央大学 古郡頼子
 創価大学キャリアセンター
 法政大学 C L S
 首都大学東京動物生態学研究室
 早稲田大学第一文学部
 早稲田大学 渡辺仁史
 首都大学東京生命科学
 学習院大学フランス会部
 青山学院大学グリーンハーモニー合唱団
 帝京大学 日和崎一朗
 アイセック早稲田大学委員会
 S H I P
 中央大学 木下徳明
 駒澤大学マスコミ研究所 4 年会
 東京学芸大学 畑中佳樹
 法政大学 小椋正立
 東京都立新宿高等学校
 統合医療研究会
 日本カンボジア学生会議
 滑川市早月中学校バスケットボール部
 エコ・リーグ
 朝日大学友好ネットワーク
 日本生物工学会
 日本女子大学附属高等学校
 (株)オザムレジャー事業部*
 (株)オザム流通部
 再考再論の会
 若手コンサルタント勉強会
 ポトス太極拳クラブ
 プロジェクトナーガス
 博物館学研究会
 調布南キリスト教会
 淀橋教会聖歌隊
 高輪教会
 佐川グローバルロジスティクス(株)
 (株)カトム
 東京レディースコンソーさやか
 (株)エコス
 ビーネイチャースクール
 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
 日立建機レック(株)関東支店

日本機械学会
 特許庁経産合唱団
 ラフターヨガジャパン
 ツリーマスタークライミングアカデミー
 第 2 回国際教養セミナー
 (個人利用)
 明星大学スクーリング生
 根来譲二

■ 11 月 (69 グループ、延 2,696 人)

駒澤大学マスコミ研究所
 首都大学東京哲学教室
 大妻女子大学ラクロス部
 青山学院大学ピーターロビンソン
 慶應義塾大学 KBC 実行委員会
 法政大学 岡 泰道
 中央大学 甲斐義幸
 立教大学 前田一男
 慶應義塾大学 長谷部史彦
 東京外国語大学 中川 裕
 早稲田大学劇団コンツェルト
 早稲田大学 周藤真也
 恵泉女学園大学心理学ゼミ*
 埼玉大学 伊藤 孝
 SFC 模擬国連
 創価大学キャリアセンター
 青山学院大学 神長 勲
 明星大学 小貫 悟
 模擬国連駒場研究会
 恵泉女学園大学 高橋清貴
 桜美林大学 福嶋輝彦
 お茶の水女子大学 加賀美常美代
 青山学院大学 佐久間康夫
 Field Assistant Network
 早稲田大学 山本武利
 国際基督教大学ディベート
 東京工業大学 飯田勝吉
 東京工科大学 苗村 潔
 法政大学 漆原和子
 クラムジーコーラス
 日本台湾教会
 日本ゲノム微生物学会
 SHIP
 東京女子体育大学ライフセービング部
 玉川大学 山口栄一
 東京薬科大学
 亜細亜学園学友会国際文化局
 関西創価高等学校
 東都学生軟式野球連盟
 模擬国連早稲田研究会
 桃山学院大学ピースネット
 バイオマテリアル若手研究会
 地域づくりインターンの会
 模擬国連委員会国立研究会
 アイセック一橋大学委員会
 アライド
 (株)オザムレジャー事業部
 コニカミノルタ労働組合八王子支部
 トム&スージー
 放電学会若手セミナー

EST
 カテナ(株)
 グリーンテクノ積和(株)
 ツリーマスタークライミングアカデミー
 日本ユネスコ協会ユースセミナー
 久遠キリスト教会聖歌隊
 (株)生活科学運営
 企業観研究会
 第 19 回大学職員セミナー
 第 5 回古代史セミナー
 (個人利用)
 神崎宏行
 中央大学 島村直幸**
 国際教養大学 パーシバルサントス
 創価大学スクーリング生
 (日帰り利用)
 炭焼き首都大学東京学生有志団体「e」
 (株)紀伊屋書店
 歌唱クラブ
 ハイファッション
 帝京科学大学 松岡 浩

■ 12 月 (58 グループ、延 2,177 人)

アイセック東京大学委員会
 日本女子大学英文学科
 アイセック中央大学委員会
 創価大学宮崎ゼミ
 中央大学砂川ゼミ
 日本大学 湯浅正敏
 東京学芸大学グローブ日本中央センター
 早稲田大学 河西宏祐
 慶應義塾大学 菊澤研宗
 早稲田大学 守口 剛
 桜美林大学 加藤 朗
 武蔵大学 川島浩平
 法政大学 相田利雄
 大妻女子大学 斉藤恵子
 帝京大学医学部事務部
 法政大学ビジネスサークル
 就職支援団体&
 Field Assistant Network
 慶應義塾大学ワグネルソサエティオーケストラ
 早稲田大学 大日方純夫
 日本大学ちゃぼ
 首都大学東京 B 類テニス部
 東京工業大学 米崎直樹
 首都大学東京 宮川 彰
 工学院大学 吉田倬郎
 早稲田大学日本語教育研究センター
 白梅学園短期大学 土川洋子
 日本大学 古田智久
 多摩大学野田ゼミ
 田中 2 ゼミ
 国際物理オリンピック代表候補者合宿
 八王子高等学校
 ものづくり大学 三原 斉
 町田 JFC
 新潟市立石山中学校上山中学校
 新潟工業高等学校建築クラブ
 東京都立小山台高等学校

ご利用状況

佐久長聖高等学校女子バスケットボール部
(有)ドリームスタディ
アライド
ガーデンバーカリー(株)*
東芝 IT サービス(株)
コニカミノルタ労働組合八王子支部
(株)テージーケー
ツリーマスタークライミングアカデミー
(株)東芝横浜事業所電力システム社 PIC 企
文学教育研究者集団
哲学研究会

AITC

第2回教員免許更新講習

個人利用

中央大学 島村直幸**

高木正三郎

川村雅之

国際教養大学 パーシバルサントス

明星大学スクーリング生

日帰り利用

首都大学東京 竹宮健司

日野・八王子研究会

東京八王子ワイズメンズクラブ

■ 1月 (33 グループ、延 1,002 人)

桜美林大学 岩井清治

日本大学 倉島 隆

中央大学 西海真樹

立教大学 有馬賢治

首都大学東京生命科学コース

慶應義塾大学体育会本部

首都大学東京耐震土質ゼミ

創価大学 西浦照雄

国際基督教大学みそしる

帝京大学スタジアブロード

駒澤大学 瀬戸岡紘

桜美林大学 川西重忠

立教大学 山口和範

スポーツチャンバラ三鷹やまとクラブ

玉川大学学生会東京山梨ブロック

日本学生オリエンテーリング連盟

相模女子大学リーダーズキャン

カテナ(株)*

宮澤賢治読書会

バゴルダレ府中

ガーデンバーカリー(株)

こだまアンサンブル

グリーンテクノ積和(株)

(株)日本 p o p 広告協会

アイフォーコム(株)

(株)象設計集団

マリアセンター

ツリーマスタークライミングアカデミー

個人利用

中央大学 島村直幸*

■ 2月 (83 グループ、延 2,435 人)

アイセック中央大学委員会

桜美林大学 小池一夫

東洋大学

法政大学 廣川みどり

日本大学 川又 祐

創価大学国際連合研究会

東洋大学はばたき

青山学院大学 藤村 学

明治大学 竹下俊郎

I C U アンサンブル

恵泉女学園大学キリスト教センター

中央大学 平野 健

千葉大学 松尾七重

中央大学混声合唱こだま会

東京学芸大学 倉持伸江

青山学院大学 白井邦彦

青山学院大学 寺東寛治

桜美林大学 穂田照子

日本大学 中邨良樹

東洋英和女学院大学心理学研究会 Seele

日本大学 代田剛彦

日本大学 三澤真美恵

日本大学アカペラサークル Sol-Fa

早稲田大学 梅森直之

中央大学混声合唱団

上智大学演劇同好会みやこどり

千葉大学 武蔵武彦

帝京大学スタジアブロード

中央大学 芳賀 寛

早稲田大学 吉野 孝

創価大学 村上克美

アイセック中央大学委員会

日本大学 清水和明

桜美林大学 高橋真義

明星大学 星山麻木

東京工科大学吹奏楽団

武蔵工業大学学生団体連合会

早稲田大学雄弁会

中央大学文化人類学研究会

アイセック慶應湘南藤沢委員会

電気通信大学学生生協

法政大学 飯田 隆

中央大学キリスト者学生会

明治大学 柿崎 繁

恵泉女学園大学学生宗教部シャロン

大妻女子大学 佐藤洋一

日本大学獣医学科実験動物学研究室

中央大学福沢研究室

東京農工大学宮浦・稲田研究室

早稲田大学 森本豊富

帝京大学医学部

日本大学 福島康仁

東京学芸大学 金谷 憲

聖学院大学ハンドベルクワイア

自然と社会研究会

聖学院大学キリスト教センター

武蔵野大学文化祭実行委員

創価女子短期大学 亀田多恵

国立音楽大学女声合唱団アンジェリカ

六大学合同セミナー

ラテ男

文学研究科若林ゼミ

臨床福祉専門学校

(株)ジェック

カテナ(株)*

室内合唱団ヴォックス・ガウディオオーザ

万国デフ・バプテスト福音伝道協会

ガーデンバーカリー(株)

(株)オザムレジャー事業部

多摩地域再チャレンジ学習支援協議会

ホワイトホースシアター

日本分光(株)

プロセスワーク研究会

(有)デボル

アライド

アシードジャパン・エコ貯金プロジェクト

個人利用

一橋大学 藤野 洋

南出新治

東京造形大学 酒井純信

日帰り利用

早稲田大学芸術学校

(株)マガジンハウス雑誌ポパイ

ナイロンガイブズジャパン

■ 3月 (98 グループ、延 4,120 人)

東京学芸大学 佐藤正光

法政大学 藤本 真

ICU グリークラブ

創価大学日伝研茶道部

早稲田大学田植え塾

フリーバード

東京経済大学文化会本部

中央大学 細野助博

明星大学電気電子システム工学科

法政大学 原 伸子

法政大学 上西充子

中央大学人間科学研究会

日本大学理工学部

首都大学東京 B 類テニス部

明治大学雄弁部

東洋大学 中澤克佳

芝浦工業大学英語部

青山学院大学 高木誠一郎

駒澤大学 川本 勝

駒澤大学 山田信行

中央大学辞達学会

立教大学 竹中千春

東京学芸大学 小林春男

東京学芸大学 高籾 学

駒澤大学 荒井浩道

明星大学 露木恵美子

上智大学英語学科ヘルパー

電気通信大学 寺田 実

明治大学グリークラブ

ICU 祭実行委員会

駒澤大学 富崎 隆

千葉大学 工藤秀明

東洋大学 川瀬晃弘

明星大学 小貫 悟

明星大学ごっつあん会

埼玉大学 山口和孝

日本大学雄弁会

早稲田大学劇団コンソェルト
 青山学院大学 中澤進一
 東京大学運動部
 日本大学 岸田 真
 ソフィアラケットボールクラブ
 創価大学南太平洋研究会
 首都大学東京戦略研究センター
 東京学芸大学家庭科学科
 創価大学地球環境サークル
 東京工業高等専門学校
 日本大学 福田弥夫
 東京学芸大学 山田有策
 横浜国立大学 小川慎一
 法政大学
 電気通信大学 阿部公輝
 八王子高等学校吹奏学部
 立正大学板橋研究室
 富士常葉大学硬式野球部
 南大沢オークス A チーム
 一橋大学 渡辺 治

あしなが学生募金事務局
 桐朋中学校・高等学校
 東京神学大学学生説教塾
 北海道大学スラブ研究センター
 明治学院大学 水谷史男
 日独フォーラム
 ラボ貝谷パーティ
 サイエンスネット
 カールスモーキー
 国際物理オリンピック代表候補者合宿
 青山学院女子短期大学 輪島達郎
 特定非営利活動法人日本国際教育大学連合 (JUCTe)
 (株)オザムレジャー事業部*
 (株)テラオカ*
 カテナ(株)
 KSK テクノサポート
 フェイスフィルハーモニー管弦楽団
 (株)サン・ライフ
 コニカミノルタ労働組合八王子支部
 相模原フィルハーモニー管弦楽団

フッサール研究会
 カルバリーチャペル
 ツリーマスタートライミングアカデミー
 岸田カウンセリング研究所
 ギルガメシュ叙事詩講読会
 (株)オザム流通部
 文学教育研究者集団
 現代と経済
 (株)エコス
 第 50 回大学教員セミナー
 第 6 回大学人コミュニケーション力養成セミナー
 (個人利用)
 明星大学スクーリング生
 (日帰り利用)
 (株)ワニブックス クール・トランス編集部
 早稲田大学芸術学校
 南大沢警察署防犯協会
 (株)新建築社
 高嶺小学校卒業を祝う会

2008 年度後期 開催セミナー報告

主催セミナー名	日程	テーマ	講師	参加者数
第3回大学教職員のためのFDセミナー	12/12	ティーチング・ポートフォリオって何だろう	栗田佳代子(大学評価・学位授与機構准教授) 加藤由香里(東京農工大学大学教育センター准教授)	30名
第6回大学人コミュニケーション力養成セミナー	09/3/6~7	個性輝く大学創りをプロデュースする	高橋真義(桜美林大学大学院アドミニストレーション研究科教授)	12名
第19回大学職員セミナー(3回シリーズ)	11/14~15	第Ⅲ回地域協力と国際化戦略、それぞれの大学における現状を通して、職員の役割を問う	徳永 保(文部科学省高等教育局長) 村田陽一(立命館アジア太平洋大学学生チューデントサポートセンター課長)	48名
第50回大学教員セミナー	09/3/2~3	徹底討論・学士力を考える	鈴木典比古(国際基督教大学学長) 濱名 篤(関西国際大学学長) 松下佳代(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)	30名
第5回古代史セミナー	11/8~9	日本の古代史を学ぶ …古田武彦先生を囲んで…	古田武彦(歴史学者・元昭和薬科大学教授)	69名
第2回教員免許更新講習	12/27~30	「教育の最新事情に関する事項」12時間(必修)「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」18時間(選択)	安田忠郎(元武蔵工業大学工学部長) 高垣マユミ(鎌倉女子大学大学院教授) 五十嵐勲(早稲田大学大学院教職研究科客員教授) 阿部一也(神奈川県立川崎高等学校総括教諭) 荒川信行(武蔵工業大学教職課程非常勤講師) 山内芳文(大学評価・学位授与機構教授)	131名

2009 年度 開催セミナー

主催セミナー名	日程	テーマ
第 2 回 FD 研究会	09/ 6/13 (土)	新任教員研修プログラムのデザインと開発
第 3 回 FD 研究会	09/11/21(土)	未定
第 20 回 大学職員セミナー	09/ 7/10 (金)～11(土)	大学の教育力を支える職員の役割を問う
第 21 回 大学職員セミナー	09/ 9/25 (金)～26(土)	教員との協働を可能にする SD のあり方
第 51 回 大学教員セミナー	09/10/17(土)～18(日)	留学生受入問題を考える
第 3 回 国際教養セミナー	09/11/14(土)～15(日)	曲がり角のアメリカ
第 36 回 国際学生セミナー	09/11/28(土)～29(日)	アメリカ発世界経済危機と現代世界
第 6 回 古代史セミナー	09/11 /7 (土)～ 8(日)	未定
第 3 回 教員免許状更新講習	09/ 7/27 (月)～30(木)	「教育の最新事情に関する事項」12 時間(必修) 「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」18 時間(選択)
第 4 回 教員免許状更新講習	09/ 9/20 (日)～23(水)	
第 5 回 教員免許状更新講習	09/12/26(土)～29(火)	

☆詳細が決定次第、ホームページでご案内いたします <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問い合わせ・お申し込み

TEL : 042-676-8532 FAX : 042-676-1220 E-mail : kikaku-koho @ seminarhouse.or.jp

○寄贈図書 (2008 年 10 月～2009 年 3 月)

「イスラーム主義とは何か」 大塚和夫
 「早稲田法学会誌 第 59 巻一号」 早稲田大学法学会
 「早稲田法学 第 84 巻 第 1 号」 早稲田大学法学会
 「論理学講義・科学概論 学習院大学研究叢書 39」
 学習院大学庶務課

「東京大学大学院教育学研究科紀要第 48 巻」

東京大学大学院教育学研究科
 「罪との闘い」 (財) 大同生命国際文化基金
 「インティザール・フサイン短編集」
 (財) 大同生命国際文化基金

館長室から

大学院教授

最近、「〇〇大学大学院教授」と書かれている名刺を頂くことが多い。

我が国の大学制度は、教育基本法、学校教育法などにより規定されており、学校教育法第 85 条に「大学には、学部を置くことを常例とする。」、同第 97 条に「大学には、大学院を置くことができる。」などと定められていることが基本になっている。このため、従来は、大学の教員は学部にも所属し、大学院を兼務することが通例であったが、1991 年以降「大学院重点化」を実施する大学が次々と現れ、現在ではかなりの数の大学が「大学院重点化大学」の看板を掲げている。「大学院重点化大学」にあっては、教員は大学院にも所属し、学部を兼務することになっているために、名刺には「〇〇大学大学院教授」と書かれることになるらしい。しかし、学士課程教育も担当する「大学院教授」という職種は、国際的には難解ではないだろうか。

中央教育審議会の答申「我が国の高等教育の将来像」において、「現在、大学は学部・学科や研究科といった組織に着目した整理がなされている。今後は、教育の充実の観点から、学部・大学院を通じて、学士・修士・博士・専門職学位といった学位を与える課程(プログラム)中心の考え方に再整理していく必要があると考えられる。」と述べられており、2008 年 9 月 11 日の諮問「中長期的な大学教育の在り方について」において、「学位プログラム」を中心とする大学制度について検討が求められている。

館長 荻上 紘一



Plain living and high thinking

セミナーハウス・ニュース No.176
 発行 財団法人 大学セミナーハウス
 2009年5月発行
 発行人 荻上 紘一
 編集 八王子セミナーハウス企画広報課
 制作 中山企画